

2018年度介護福祉士養成のための奨学金支給対象者を決定

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団（理事長 二宮雅也、以下「損保ジャパン日本興亜福祉財団」）は、2018年度介護福祉士養成のための奨学金を支給する10名を決定しました。

1. 介護福祉士養成のための奨学金制度の概要

損保ジャパン日本興亜福祉財団が実施している「介護福祉士養成のための奨学金制度」は、社会福祉の分野で人材不足となっている介護福祉士をめざす学生の育成を図ることを目的としています。介護福祉士を目指す優秀であるが学資の支弁が困難と認められる学生（2年制専修学校が対象）に返済義務のない奨学金（月額3万円、2年間）を支給するものです。

損保ジャパン日本興亜福祉財団では、1992年から本制度を開始し、昨年度までの26年間で奨学金対象者は268名にのぼり（奨学金総額約1.8億円）、卒業生は全国の特別養護老人ホーム等の介護関連施設で活躍しています。

2. 2018年度奨学生

2018年度は指定校24校に加え、財団ホームページに掲示した募集要項を通して指定校以外からも募集を行い、指定校15校より応募がありました。

有識者で構成する選考委員会において選考を行い10名の奨学生を決定いたしました。詳細は以下のとおりです。

〔2018年度介護福祉士養成のための奨学生所属の専修学校〕

所在地	学校
東京	東京 YMCA 医療福祉専門学校
栃木	栃木介護福祉士専門学校
大阪	南海福祉専門学校
高知	高知福祉専門学校
群馬	大泉保育福祉専門学校
石川	金沢福祉専門学校
北海道	せいとく介護こども福祉専門学校
愛知	日本福祉大学 中央福祉専門学校
宮城	仙台医療福祉専門学校
愛知	日本福祉大学 中央福祉専門学校

<損保ジャパン日本興亜福祉財団について>

損保ジャパン日本興亜福祉財団は、損保ジャパン日本興亜の出捐を受け、社会貢献活動の一翼を担う財団として設立された公益法人です。同財団の主な活動は本助成のほか、社会福祉・社会保険・損害保険・ジェロントロジー等に関する研究助成や研究会・講演会を行うとともに、わが国における優れた社会福祉学術文献の表彰（「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」）およびこの受賞者による講演会・シンポジウムを行っています。

以上